



つながり つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和6年7月19日
第39号
江別市教育委員会
総務課・学校教育課

授業が楽しかった！また中学校の先生に教えてほしいな！

～大麻東中学校区 英語科と理科の乗り入れ授業～

6月18日（火）と20日（木）に大麻東中学校区で中学校の先生による乗り入れ授業が行われました。後日行われる中学校登校に向けて、小学生の中学校への関心を高めることをねらいの1つとして、この時期に実施しました。

大麻泉小では、英語科の先生による授業で、「Which do you like ～？」や「Which ～ do you like the best？」の文型を使って「一番好きな〇〇を探ろう。」が学習課題です。授業は「All English（オールイングリッシュ）」で進められましたが、子どもたちは、先生の発問・指示を理解し、的確に活動していました。また、教科やスポーツ等、相手の好きなものを聞いていく活動が組み込まれていたため、どの子どもとも友達と英語で積極的にコミュニケーションをとっていました。生き生きと活動する子どもたちの姿が印象的な授業でした。



大麻泉小での英語科の乗り入れ授業

大麻東小では、理科の先生による乗り入れ授業が行われました。「酸素はどんなものか。」という学習課題で実験を行い、「酸化」について学んでいく内容です。鉄、炭、食塩水を封筒に入れて混ぜたり揉んだりしていくと、しだいに熱くなっていくことを実感した子どもたちは、目を輝かせながら学びに集中していき、深く考えていました。最後には、携帯用カイロの成分・原理と同じだということが分かったようです。



大麻東小での理科の乗り入れ授業

今回の取組は、一番の目的である「中学校の学習への興味・関心を高めること」が十分に達成された乗り入れ授業となりました。また、中学校の先生にとっても、6年生の実態を把握する貴重な機会になったと思います。

懐かしい先生との学習！小から中への乗り入れ授業

～江陽中学校区 小学校の先生による美術科・国語科・道徳科の授業～

江陽中学校区で小学6年生の中学校登校に合わせて、小学校の先生による中学校への乗り入れ授業が行われました。江別太小の6年生の先生方が、アプリを活用して「回転アニメーション」を作る美術科の授業、お話の軸をつかむための思考トレーニングを行う国語科の授業、落語の演目「長短」をもとに「寛容・相互理解」について考える道徳科の授業を行いました。どの授業も興味深そうに目を輝かせながら授業を受けていた中学生の姿が印象的でした。

この取組は、小中の先生方の協働性を高める貴重な実践となっています。



江別太小の先生方による美術科、国語科、道徳科の授業

中学校生活を実際に体験できる！中学校登校の取組

①江陽中学校区



英語科の体験授業



特別支援学級の合同授業



中3の修学旅行発表会

6月25日（火）から3日間、江別太小の6年生3学級と特別支援学級、豊幌小の6年生1学級の子どもたちが江陽中に朝から登校し、英語の授業体験や合同授業によるモルック体験、中学3年生の修学旅行の発表会への参加等の取組を行いました。

英語の授業はオールイングリッシュで行われ、子どもたちは先生の話していることを想像しながら反応や発言をしていました。

特別支援学級の合同授業では、身体を動かすことやチームで行動することを通して、子どもたち同士の「つながり」が生まれるように工夫していました。中学生がさりげなく小学生の面倒をみてあげる姿がたくさん見られました。

修学旅行の発表会では、昨年度の合同新体カテストでも一緒に活動をしていたので、小学生は顔見知りの先輩の発表をより興味を持って聴くことができました。相手意識や目的意識を持ってプレゼンテーションをする中学生の姿も素晴らしかったです。

②第三中学校区



国語科の体験授業



数学科の体験授業



中学生の授業を参観



特別支援学級の小中合同授業



中学生による後片付けの支援



北光小・いずみ野小の合同道徳

6月26日（水）に第一小、7月4日（木）に北光小といずみ野小の6年生が中学校の授業等を体験しました。体験メニューは、校内巡り、授業参観、国語科・数学科の体験授業等です。いずみ野小と北光小の子どもたちは、給食を一緒に食べ、午後から道徳科の学習も行いました。

校内巡りと授業参観では、実際に教室に入って先輩の学習している様子を見たり、中学校の先生のお話を聞いたりしました。国語科の体験授業では、小学校の学習をフル活用して「俳句」に出てくる言葉の読み方や意味を考えたり、作者はどんなことに感動したのかを想像したりしました。数学科の体験授業は、小学校で学んできた計算力を生かして「正の数、負の数」についての学習を行う内容でした。2つの授業体験を通して、中学校の学習は小学校での学習が基盤となっていることを実感し、対話や振り返り等を通して自分の考えを広げたり深めたりしていくことが大切であることに気づきました。特別支援学級では、小・中学生と一緒に家庭科や美術科の学習を行いました。途中で先生や先輩が優しく教えてくれて、小学生の子どもたちは意欲的に学習に取り組むことができました。

北光小といずみ野小と一緒に過ごした給食時には、中学生が制作した小学生向けのラジオ番組が放送されました。内容は、先生方のことや学校の行事のこと、先輩からのメッセージ等で構成されていて、6年生の子どもたちは喫食しながら楽しそうに聴いていました。喫食後は、中学生が手伝いに来てくれて中学校の給食の後片付けについて教えてくれました。

午後からは北光小の先生が道徳科の合同授業を行いました。「友情・信頼」の内容項目に関わる学習で、子どもたちは個人思考や集団思考を通して信頼することや友情についての考えを深めていきました。

今回の第三中学校区の取組は、中学生が小学生に直接関わる場面をつくる等、昨年度の反省を生かして、より有意義なものとなるように工夫されており、子どもたちの笑顔や目を輝かせて学習に向かう姿がたくさん見られた実践となりました。